



scene 1

学習への取り組みについて

1年 適切な学習習慣の確立と自己理解		○
A	授業などにおけるルールを守って学習活動に取り組んでいる	
B	自分の得意な教科、興味のある領域を自覚している	
B	授業中に、指名されなくても自分の考えをもっている	
A	他人の発言を、理解しようと思いつつ聞いている	
C	定期考査の前に計画を立て、取り組んでいる	
D	授業などで取り組んでいることは、将来の自分の力になると考えている	
2年 自己の適性や興味を理解して伸長する		○
C	わからない事や興味のある事を調べたり質問したりできる	
B	興味のある学習には進んで取り組み、努力を継続できる	
A	自分の考え方や解き方を他人が理解できるように説明できる	
D	将来の目標を実現するために目標を設定できる	
C	考査前の学習計画を、結果を分析して修正できる	
B	学習へのモチベーションを高めるために方法などを工夫できる	
A	他人の考え方や解き方に目を向けることができる	
3年 学習した内容を活用する		○
D	自分になりたい職業に関わることについて、情報を収集し探究できる	
C	成功や失敗の経験を通して、方法や計画の続行や修正をすることができる	
A	自分と他人の考え方や解き方の違いを比較し、よいものを吸収できる	
C	以前学習した内容、他科目で学習した内容との関連に気づくことができる	
B	学習の成果があらわれなくても、あきらめずに学習を継続できる	

scene 2

学校生活の過ごし方・人間関係について

1年 良好な人間関係を構築する		○
A	仲の良い友人同士でも、相手を気づかした話し方、言葉づかいができる	
A	周囲の人間の気持ちを考えて行動できる	
B	自分の役割を責任を持って果たしている	
B	学校生活を優先し、健康に気を配り生活している	
A	自分に非がある場合、謝ることができる	
2年 他者と協同し、周囲からの信頼を得る		○
A	友人の悩み等に気を配り、共に解決策を考えることができる	
B	自分ができるところを進んで引き受け、責任を果たしている	
A	周囲と協力して物事に取り組むことができる	
B	一人ではできないことがあるとき、周囲の友人に助けを求めることができる	
3年 他者の考えを取り入れ自己の深化を図る		○
B	責任を持って意思決定を行い、行動できる	
B	自分の行動を振り返り、次の行動にいかすことができる	
A	他人の考え方や性格の影響を受けて、自分の考え方や行動が変化することがある	
A	意見が対立する相手と話し合いながら解決を目指すことができる	

scene 3

1年 自己と社会を理解し、情報収集する		○
D	自分の周囲にある多くの職業に目を向け社会の仕組みを理解している	
C	自分の進路に関わる情報を集めようとしている	
B	自分の価値観を理解している	
D	興味や適性をふまえて学科選択や科目選択ができる	
D	社会情勢に目を向け、自己の将来と結びつけられる	
C	由利ゼミにおいて自分の興味・関心と関連するテーマを設定できる	
D	現時点でのライフプランのイメージがある	
2年 体験活動を通して進路選択の検証をする		○
B	体験活動に参加するために、社会のルールなどを事前に確認した	
B	体験活動を通して考え方やものの見方が変わった	
B	体験活動を通して考えた事を自分の進路選択に役立てた	
D	自分の持っている価値観だけでなく、他の視点から職業を考えられる	
C	由利ゼミにおいて自分が設定したテーマについて、成果をあげた	
D	現時点でのライフプランを具体的に説明できる	
3年 ライフプランの確立と社会への移行		○
A	社会一般におけるルールやマナーを身につけている	
A	社会における権利・義務・責任を理解している	
B	生涯を通して学び続ける必要性を理解している	
D	進路実現のために、様々な課題を解決する方法を身につけている	
C	由利ゼミでの取り組みを進路選択、実現のために役立てた	
D	ライフプランを実現するための具体的な取り組みをしている	

scene 4

部活動、体験活動、地域との関わりについて

1年 学校生活を通して由利高生としての基盤を作る		○
A	時と場所に応じたあいさつができる	
A	年齢や立場が異なる相手にも自分の考えを伝えることができる	
B	校内だけでなく校外でも適切な服装やあいさつができる	
D	地域には様々な職業人がいて自分の生活が支えられていることを理解できる	
A	部活動や学校行事で、先輩と適切なコミュニケーションをとることができる	
2年 校内外での活動を通して自己を見つめ、問いかける		○
A	体験活動などで、相手の立場に応じた言葉遣いやあいさつができる	
B	体験活動などを通して、それまで気づかなかった自分の特性を見つけた	
D	体験活動などを通して、学校での学習や行事の必要性を感じた	
A	部活動や学校行事で先輩や後輩と協力して物事を進めることができる	
3年 身につけたことを活用する場を求め行動する		○
A	地域において、必要があれば話しかけたり質問したりできる	
D	自己実現に必要な体験機会などを、自ら設定して行動できる	
B	部活動や学校行事において、最高学年と自覚し後輩を指導し、目標に向けて努力した	
D	これまでの体験や経験から得た勤労観や職業観をもとに将来の職業を選択できる	